

市問う！ 市政を！

一般質問

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。
◎ここに掲載したのは要約で、会議録に基づき議員本人が編集したものです。
◎詳細は会議録（今回の会議録は、9月上旬からホームページ、図書館、各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

氏名	質問の要旨
遠藤 博昭	1 防災について
永島 幸夫	1 大川市内小学校のトイレについて 2 「大川の駅」全体計画の白紙撤回を!!
内藤 栄治	1 「大川の駅」全体計画について
馬淵 清博	1 新型コロナウイルスの本市農業への影響と今後の取組は 2 本市の水害対策の現状と今後の取組は
西田 学	1 大雨等による災害防止について 2 「大川の駅」整備について
永島 守	1 政治行政と政策推進について
宮崎 稔子	1 生活困窮者への支援について



防災について

遠藤 博昭 議員

問 大川市の自主防災組織の組織化の状況及び、その組織力向上のためにどのような活動が行われているのか。

答 大川市では、平成23年度から自主防災組織の設立を進めており、大川市全域の77地区のうち73地区に組織が設立されています。

また、自主防災組織の活動としては、講習会や避難訓練等の取組を行っており、今後は、防災士の会にも協力をいただき、講習会等の質の向上を図ります。さらに、地域の防災リーダーの育成及び防災力向上のために、県主催の防災士養成講座研修に参加していただき、防災士の資格を取得するための助成制度を今年度スタートさせました。

問 自主防災組織では、要配慮者に対する情報収集と収集した情報の管理はどのようにしているのか。

答 福祉事務所及び健康課高齢者支援係が一緒に要配慮者の名簿を作り、地域の区長を中心に管理していただいています。今年度4月の名簿では、対象者が3314名であり、そのうち同意をいただいていた個別避難支援計画書が作成されている方は2448名で、73・9%の作成率です。

問 災害時における社会福祉協議会の役割とその体制は。

答 現在、大川市と社会福祉協議会においては、災害時におけるボランティア活動に関する協定を締結しており、市がボランティアセンターを設置したときに、市と連携してボランティアセンターの運営を行うこととしています。社会福祉協議会の組織体制は、正規職員が3名で、今後は災害ボランティアリーダーの育成など、必要性を感じています。



大川市内小学校のトイレについて
「大川の駅」全体計画の白紙撤回を!!

永島 幸夫 議員

問 中学校2校のトイレは洋式化され、一般家庭や職場においても、洋式トイレの時代が変わってきているが、市内8か所の小学校のトイレは、和式が主で洋式は少ないとの保護者、生徒及び学校職員からの指摘がある。洋式化の予定は。

答 市内小学校のトイレは洋式より和式の数が多い状況で、全ての小学校において各フロアの男女トイレに少なくとも1基は洋式が整備されています。近年、学校との協議に基づき、実情に応じて計画的にトイレの洋式化に取り組んでいます。なお、洋式トイレは和式に比べて広いスペースを要するため、特段の事情がある場合を除き、大規模な改修に合わせて整備を進めていくこととしています。

問 本年3月14日に有明海沿岸道路大野島インターチェンジが開通し、交通事情が大きく変わった。

本市は大野島に広域的な産業観光振興の拠点を整備する大川の駅構想に取り組み、本年4月に全体計画を策定した。多くの市民から構想に対する疑問の声が寄せられている。施設を造り、運用しても、開店休業に陥るのは明らかである。市長が言われる費用対効果は。大川の駅構想を白紙撤回してほしい。

答 昨年から市政運営2期目ですが、環有明海経済圏域形成の拠点を目指す大川の駅構想の実現を公約に掲げ、市長選挙に出馬し、2期目の負託をいただきました。市民の皆様には選挙公約として掲げた肝の政策を白紙撤回せよとの議員の発言は、私に市長を辞めると言っているに等しいものです。常々、議員は私の他の政策にも反対されているので、特段驚きはしませんが、ひるむことなく実現に向けて着実に推進します。



「大川の駅」全体計画について

内藤 栄治 議員

問 イメージ図と本設計の違いは。

答 大川の駅のイメージ図は、あくまでも現段階での想定であり、今後策定する基本計画や基本設計等の中で詳細は決まっていきます。

問 大川の駅の完成時期は。

答 今年度は、道の駅基本計画とかわまちづくり計画を策定し、用地取得の進め、設計段階を経て、整備着手からおおむね5か年での開業を目指しています。

問 大川の駅の予算計画は。

答 今年度策定を予定している基本計画において、施設の導入、規模、配置等を精査し、概算事業費等を算出することになります。

問 建設予定地の用地取得は。

答 ほとんどが農業振興地域の農用地のため、農用地区域の変更と農振除外、農地転用の手続が完了し、地権者等への説明会を経て、用地取得を進めたいと思います。

問 大川の駅の防災計画は。

答 全体計画では、地域住民の一時避難受け入れ施設、災害備蓄倉庫、太陽光発電や自家発電、防災学習や体験スペース、ヘリポート、広域災害時の自衛隊の待機所等を想定しており、今後、防災機能について具体的に検討していきます。

問 運営方法及び宝島の活用は。

答 公設民営での指定管理や民間活力を導入するPFI方式が考えられます。宝島は大川特有の資源であり、かわまちづくり計画の中で支援制度を検討していきます。

意見 事業費の予算計画をしっかりと立て、維持管理費の負担も少なく、利益を生む大川の駅にするための運営をお願いしたい。今後、少子・高齢化や人口減少に伴う収入減、扶助費増加が予想され、本市の財政収支は厳しくなる。健全な財政運営に努めてほしい。